

2023(令和5)年度 郡山市のごみ排出量について

■ごみ排出量(1人1日当たり、2023年度・2022年度比較)

		郡山市 (中核市順位)	中核市 平均	中核市 平均の差
事業系 ごみ	2023	395g (55位/62市)	283g	+112g (+39.6%)
	2022	410g (58位/62市)	287g	+123g (+42.8%)
生活系 ごみ	2023	707g (61位/62市)	592g	+115g (+19.4%)
	2022	755g (61位/62市)	622g	+133g (+21.3%)
合計	2023	1,102g (62位/62市) △63g (※1)	875g △34g	+227g (※2) (+25.9%)
	2022	1,165g (62位/62市)	909g	+256g (+28.1%)

●2023年度・2022年度比較 本市ごみ排出量

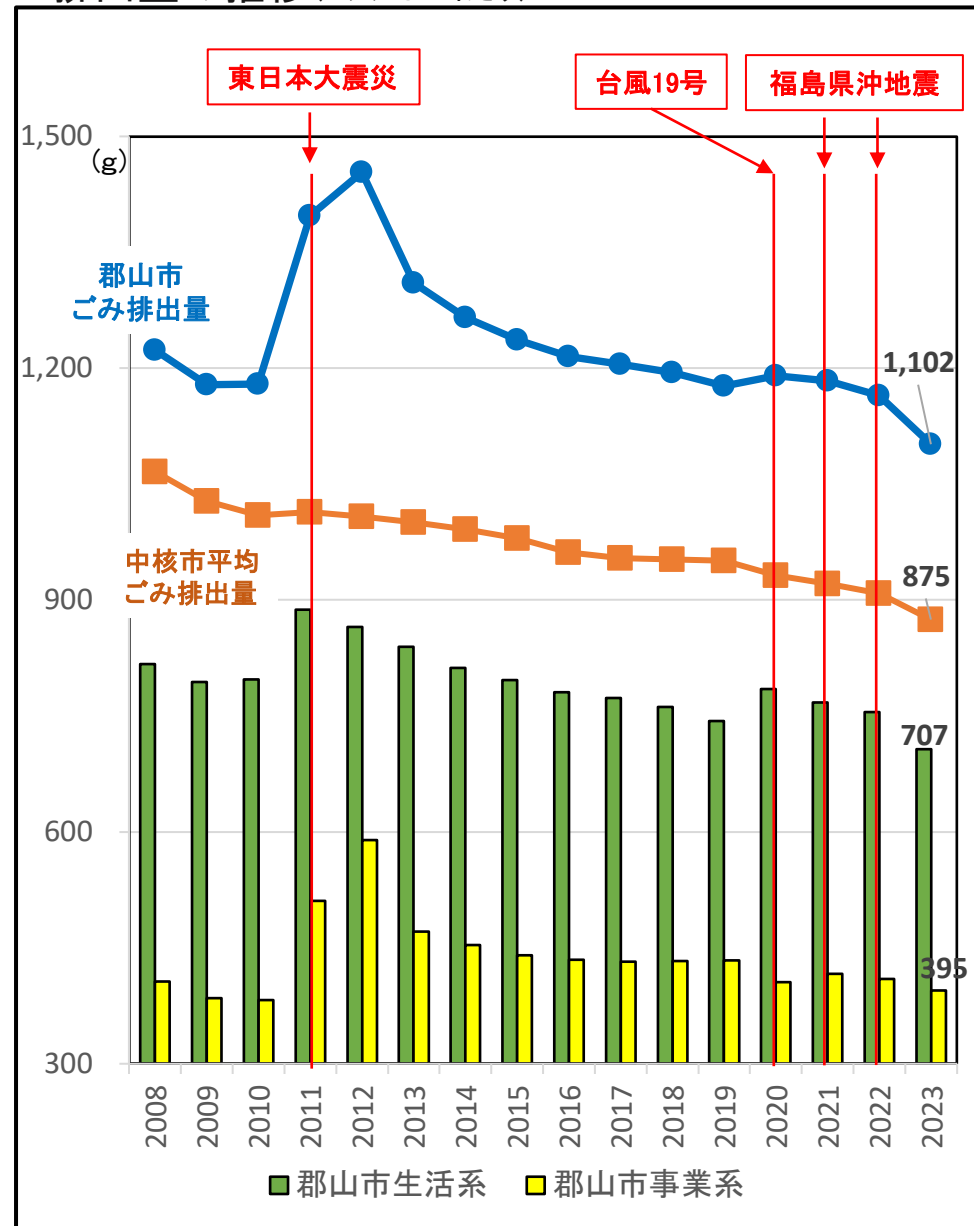
事業系ごみ・生活系ごみともに減少、合計で見ると中核市平均を上回る63g(※1)の減少となったが、依然として平均比で227g(※2)多く、排出量ワースト1位。

【他自治体の情報】

環境省ページ内「処理状況→全体
集計結果→市町村集計結果」をご覧ください



■排出量の推移(1人1日当たり)



みんなで目指す「郡山 ごみ減量 20%」

データで見る減らせる「燃やしてよいごみ」

郡山市一人一日当たりのごみ排出量の20%削減に向けて、一人ひとりが出来ることから取り組みましょう！

○一人一日当たりのR5排出量1,102 g

生活系ごみ 706.6 g	可燃	577.1 g
	不燃	27.8 g
	資源	93.0 g
	粗大	8.7 g
事業系ごみ 395.4 g	可燃	393.3
	不燃	0.7 g
	資源	1.4 g

可燃物の内訳は？

ちょっとした工夫で
減量できるんだね！



郡山市の取組は
こちらから→

○生活系可燃577.1 g の推計（組成調査3回平均）

組成調査とは、ごみ減量の施策の基礎資料等とする目的で、燃やしてよいごみの排出状況进行分析しています。調査の結果、燃やしてよいごみの中に28.1%の資源物が含まれていました。

種別		割合 %	重さ g	減量方法
可燃	生ごみ	14.32	82.6	生ごみの約80%は水分、水分を絞ると 約20%減 電動生ごみ処理機で乾燥させると 約80%減 ← POINT コンポストでたい肥化すれば 100%減
	草木	10.43	60.2	天日干しで 約50%減 ← POINT
	繊維くず	4.80	27.7	ズボン（ 370 g ）をリユースする ← POINT
	廃プラ	1.20	6.9	使い捨てスプーン（ 2 g ）などを貰わない
	その他	40.23	232.2	汚れた物は 軽くすすぐ などのひと手間 正しい分別 による資源化 ← POINT ティッシュやキッチンペーパー等の 紙類の節約
不燃物		0.92	5.4	正しい分別による資源化
資源物	びん	0.00	0	
	アルミ缶	0.32	1.8	500ml缶 17 g 、マイボトルで減量
	スチール缶	0.03	0.2	350ml缶 25 g 、マイボトルで減量
	ペットボトル	1.13	6.5	500mlの空ボトルが 30 g 、マイボトルで減量
	容器包装プラ	3.11	17.9	レジ袋一枚 7 g 、マイバッグで減量
紙		23.51	135.7	A4用紙一枚 5 g 、民間事業者や市の回収スポットを活用